

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	平日の日に運営推進会議を開催しているため、会議に参加者出来る方が、限定されてしまっている。また、ご家族に対し、会議への案内は送付しているが、現状として、ご家族の参加は殆ど無い。ご利用者にも参加して貰えていない。	運営推進会議への参加者を増やし、より多方面から、ご意見を頂くことで、せせらぎが今後果たしていくべき役割を、明確にすることが出来る。今年度震災の影響もありあと3回行う。	ご家族に対し、再度、運営推進会議の意義を説明し、個別に会議への参加を依頼する。また、ご利用者も一緒に参加して貰い、せせらぎに対する意見をお聞きする機会を設ける。日程の設定についても、参加出来なかった方に、ご意見を伺い、検討を行う。	6ヶ月
2	35	震災は経験したが、日常的な備えとしての具体的方策が明確ではない。災害が起きた時に、せせらぎとして、ご利用者、地域に対して何が出来るのか、職員全員で、再度確認する必要がある。	日常的に災害時の準備ができ、地域において、せせらぎとしての役割を果たしていくことが出来る。竿外支援のイメージトレーニングを行う。	法人全体として災害対策の検討を行い、日常的に災害時の対応についてイメージをしておく。また、今回の震災の経験をもとに、自分たちに何が求められているのか、何が出来るのか、再度確認を行う。実際に必要な物品等も準備しておく。	3ヶ月
3	55	震災の影響により、共有空間、各居室の改修が出来ておらず、以前に比べ、活動範囲が狭まっている。現段階では、民家改修型の利点を十分に活かすことが出来ていない。	出来る部分から、整備を行い、安心して過ごして頂ける空間作りを、ご家族、ご利用者と共に行っていく。運営的観点から、使いやすさも考えて改修を行う。	改修に合わせ、共有空間の整備を行い、掘り炬燵や広縁の活用を再度行っていく。また、ご家族に依頼して、各個人に合った居室作りを一緒に行っていく。職員だけではなく、ボランティアや家族の協力も得る。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。